

## 第7次NACCSの開発について

2019（平成31）年3月8日

輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社

## I. 専門部会の設置について

別紙1. 第7次NACCS更改に向けた専門部会・WGの構成(案)

別紙2. 第7次NACCS更改に向けた専門部会・WGの開催予定(案)

### 参考資料. 第7次NACCSの開発について

1. NACCSを取り巻く環境の変化
2. 第7次NACCS開発のコンセプト
3. 第7次NACCS開発スケジュール

# I. 専門部会の設置について

## 1. 第7次NACCSの開発

2017年10月に稼働を開始した第6次NACCSは、システムライフを8年としていることから、2025年10月を目途としてシステム更改を実施することとしています。第7次NACCSにつきましては、以下を開発コンセプトとして、今後、官民の利用者の皆様とともに、基本仕様の検討等を進めていく必要があります（別紙1参照）。

### 【第7次NACCSの開発コンセプト】

- 官民共同利用システムとして、安定性・信頼性の高いシステム
- 公共的インフラとして、効率性・経済性の高いシステム
- 総合物流情報プラットフォームとしての更なる機能の充実
- 国際物流に関連した最新技術の応用・周辺の貿易情報基盤との連携の可能性

## 2. 専門部会の設置

第7次NACCSの開発を円滑に進めていくためには、2019年度中を目途として、基本仕様等の検討及び確定を行うことが必要となります。当該基本仕様等の検討を進めるにあたっては、官民利用者の皆様からの意見等を十分に反映させる必要があるため、2019年度において、以下のとおり情報処理運営協議会の下部組織として専門部会を設置したいと考えています（別紙1参照）。

### (1) 目的

第7次NACCSの業務仕様等に関して、官民利用者により検討を行うことを目的とします。

### (2) 組織

- ① 情報処理運営協議会の下部組織として、「第7次NACCS更改専門部会」を設置します。
- ② 「第7次NACCS更改専門部会」に、「輸出入通関WG」、「航空保税・貨物WG」、「海上保税・貨物WG」を設置します。
- ③ 事務局はNACCSセンターシステム企画部とします。

### (3) 開催スケジュール（予定）

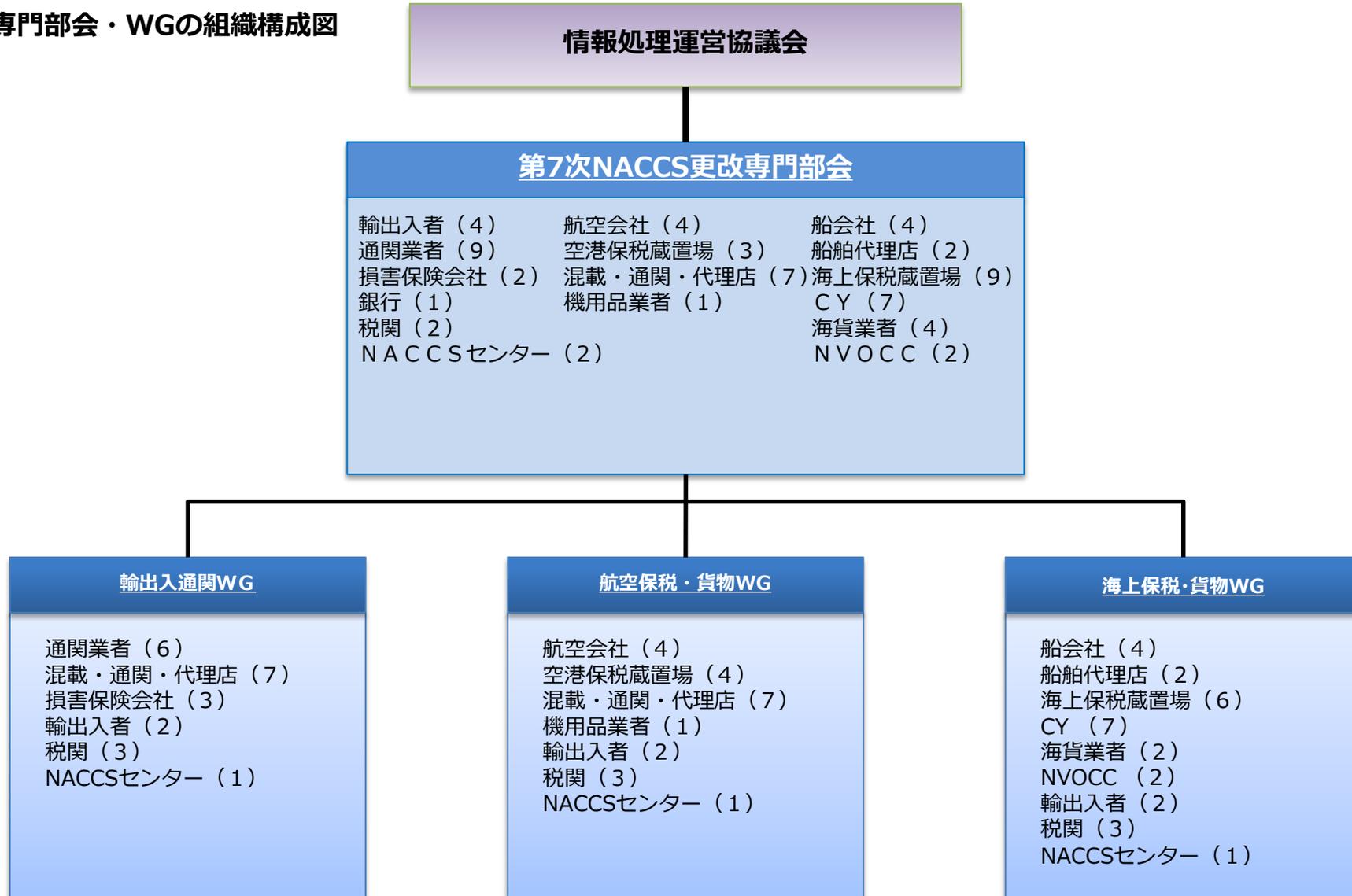
2019年度における専門部会等の開催スケジュールは別紙2を予定とします。

### (4) 対外公表

専門部会の活動状況については、NACCSセンターホームページ、NACCS掲示板等を利用して適宜公開します。

# 別紙1. 第7次NACCS更改に向けた専門部会・WGの構成(案)

専門部会・WGの組織構成図



( ) 書きは委員数

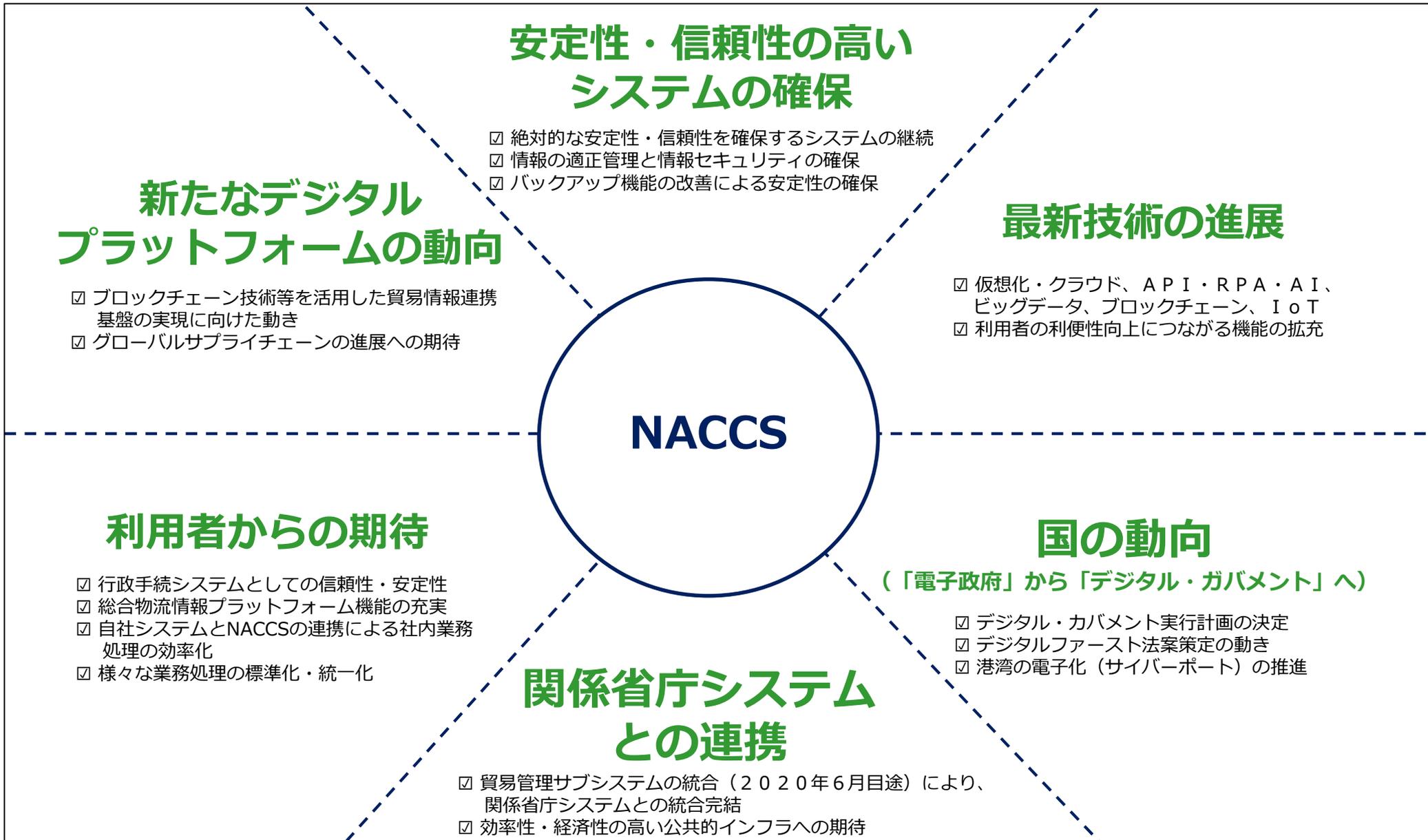
## 別紙2. 第7次NACCS更改に向けた専門部会・WGの開催予定（案）

専門部会			W G		
2019年8月	第1回第7次NACCS更改専門部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報処理運営協議会における議事報告</li> <li>・部会長選出</li> <li>・専門部会の運営、スケジュール</li> <li>・専門部会における検討事項</li> </ul>	2019年8月	第1回合同WG	<ul style="list-style-type: none"> <li>・WGの運営、スケジュール</li> <li>・WGにおける検討事項</li> </ul>
			2019年9月	第2回合同WG	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本業務フローの検討</li> <li>・システム構成、EDI仕様の検討</li> </ul>
			2019年10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回輸出入通関WG</li> <li>・第1回航空保税・貨物WG</li> <li>・第1回海上保税・貨物WG</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別業務等の検討</li> </ul>
			2019年11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2回輸出入通関WG</li> <li>・第2回航空保税・貨物WG</li> <li>・第2回海上保税・貨物WG</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別業務等の検討</li> </ul>
			2019年12月	第3回合同WG	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務基本仕様書の検討</li> <li>・EDI基本仕様の検討</li> </ul>
2020年1月	第2回第7次NACCS更改専門部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・WGにおける検討結果の報告</li> <li>・基本仕様(業務・EDI)の検討</li> <li>・今後のスケジュール</li> </ul>			

(注) 上記スケジュールは参考としてお示したものであり、実際の開催時期、開催回数、検討項目等は今後検討することとしています。

# 第7次NACCSの開発について

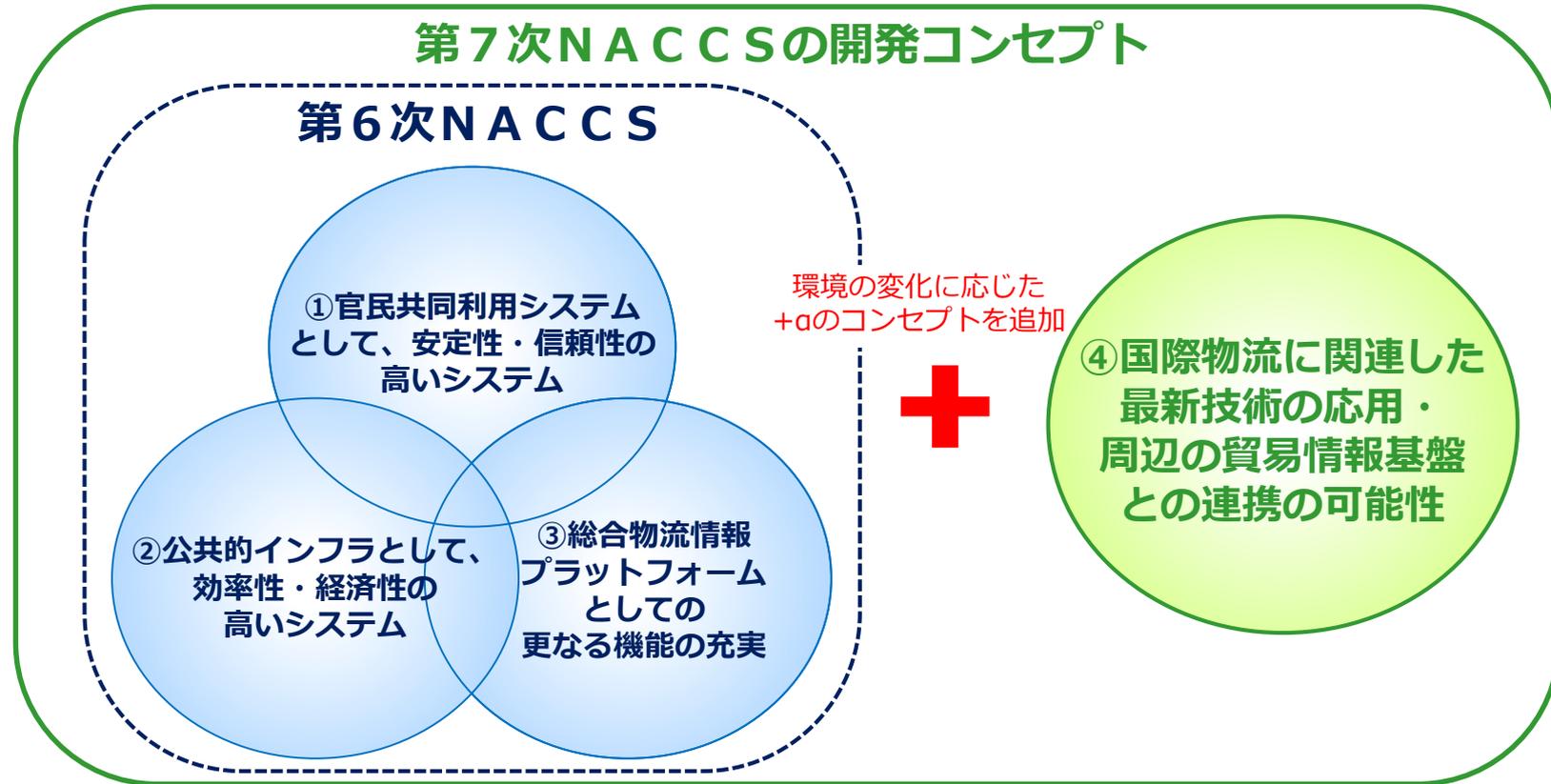
# 1. NACCSを取り巻く環境の変化



## 2. 第7次NACCS開発のコンセプト（1）

### 【前提条件】

- ☑ NACCSは行政・貿易手続業務の遂行に必要な「ミッションクリティカル・システム」
- ☑ 安定稼働の確保のための信頼性・可用性・保守性の向上
- ☑ 経済性（コストの低減、効率的で簡素）と利便性（機能の拡張）の両観点を踏まえた検討
- ☑ グローバルサプライチェーンの進展に伴ったシステムの進化
- ☑ 利用者の影響を考慮した最新技術の応用への取り組み
- ☑ 各種貿易情報連携基盤構築に関する動向の注視とシステム連携の可能性の精査



※ 中期経営計画（2018年度～2020年度）に沿って、第6次NACCSの開発に当たり掲げた3つのコンセプト（①～③）を引き続き追求するとともに、④のコンセプトを加え、「安定性」と「先端性」のバランスを図りながら開発を進めていきます。

## 2. 第7次NACCS開発のコンセプト（2）

官民共同利用システム  
として、安定性・信頼性の  
高いシステム

NACCSが国際物流において必要不可欠な官民共同利用の基幹システムであることを踏まえ、第7次NACCSにおいても、安定性・信頼性の高いシステムの実現を図ります。

- システムの安定性・信頼性を確保するシステム更改の実現(更改の時期、業務機能等)
- 強固な情報セキュリティ対策の実現に向けたシステム構築の検討
- 大規模災害時及び大規模障害時におけるバックアップ機能の更なる見直し

公共的インフラとして、  
効率性・経済性の  
高いシステム

NACCSは官民共同システムとしての公共的インフラであることを踏まえ、第7次NACCSにおいても、効率性・経済性の高いシステムの実現を図ります。

- システムの効率性・経済性を確保するシステム構成の見直し
- システム開発コストの低減化の検討
- サーバの仮想化、クラウド化によるリソースの有効活用の検討

総合物流情報  
プラットフォーム  
としての  
更なる機能の充実

我が国の産業・港湾の競争力の維持・強化、グローバルサプライチェーンの進展を踏まえ、第7次NACCSにおいても、総合物流情報プラットフォームとしての機能の充実を図ります。

- 更なる利便性の向上を目指したプログラム変更、新規業務の検討
- インターネット経由による新たな自社システム接続方式の検討
- 様々なユースシーンに柔軟に応えるタブレット端末等によるNACCS利用の検討

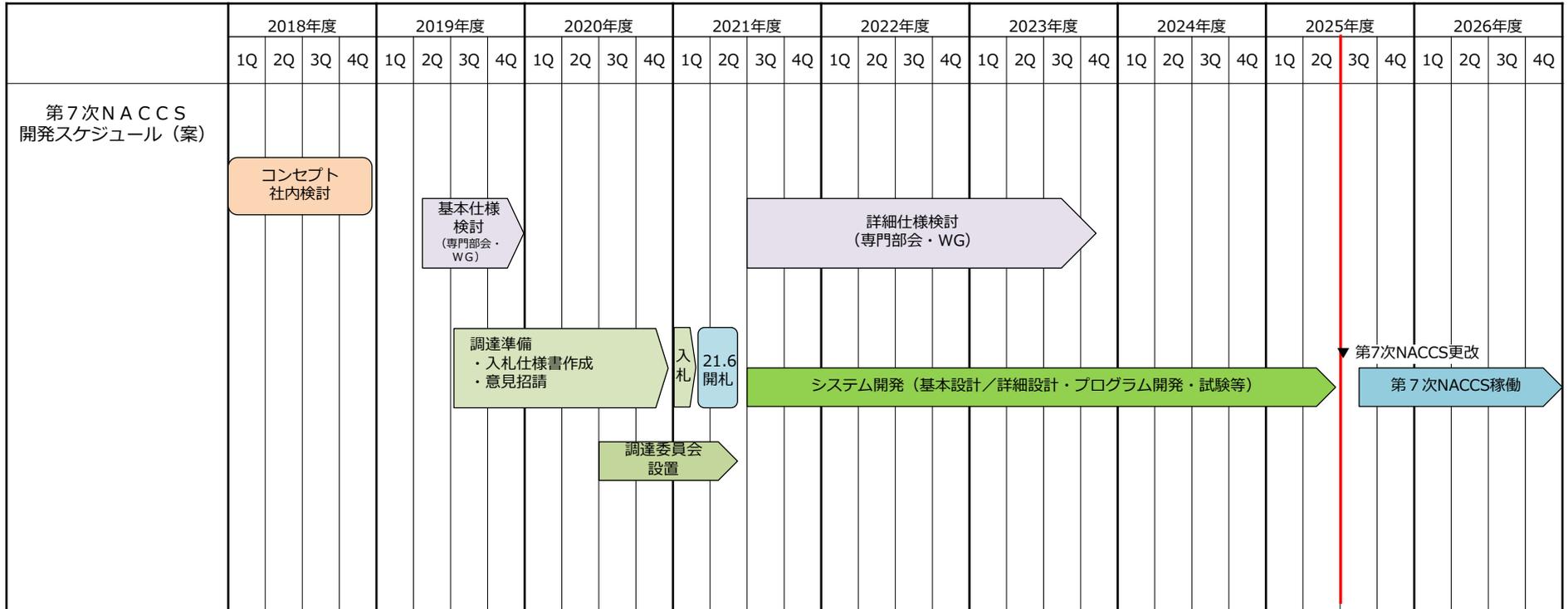
国際物流に関連した  
最新技術の応用・  
周辺の貿易情報基盤  
との連携の可能性

IT最新技術を用いたユーザビリティの改善、周辺の貿易情報基盤との円滑な連携を視野に入れ、利用者の利便性の向上を図ります。

- 最新技術の実用性の検討
- 官民で検討されている各種デジタルプラットフォーム（貿易情報基盤）との連携の可能性の検討
- 国際連携機能の更なる拡大の検討

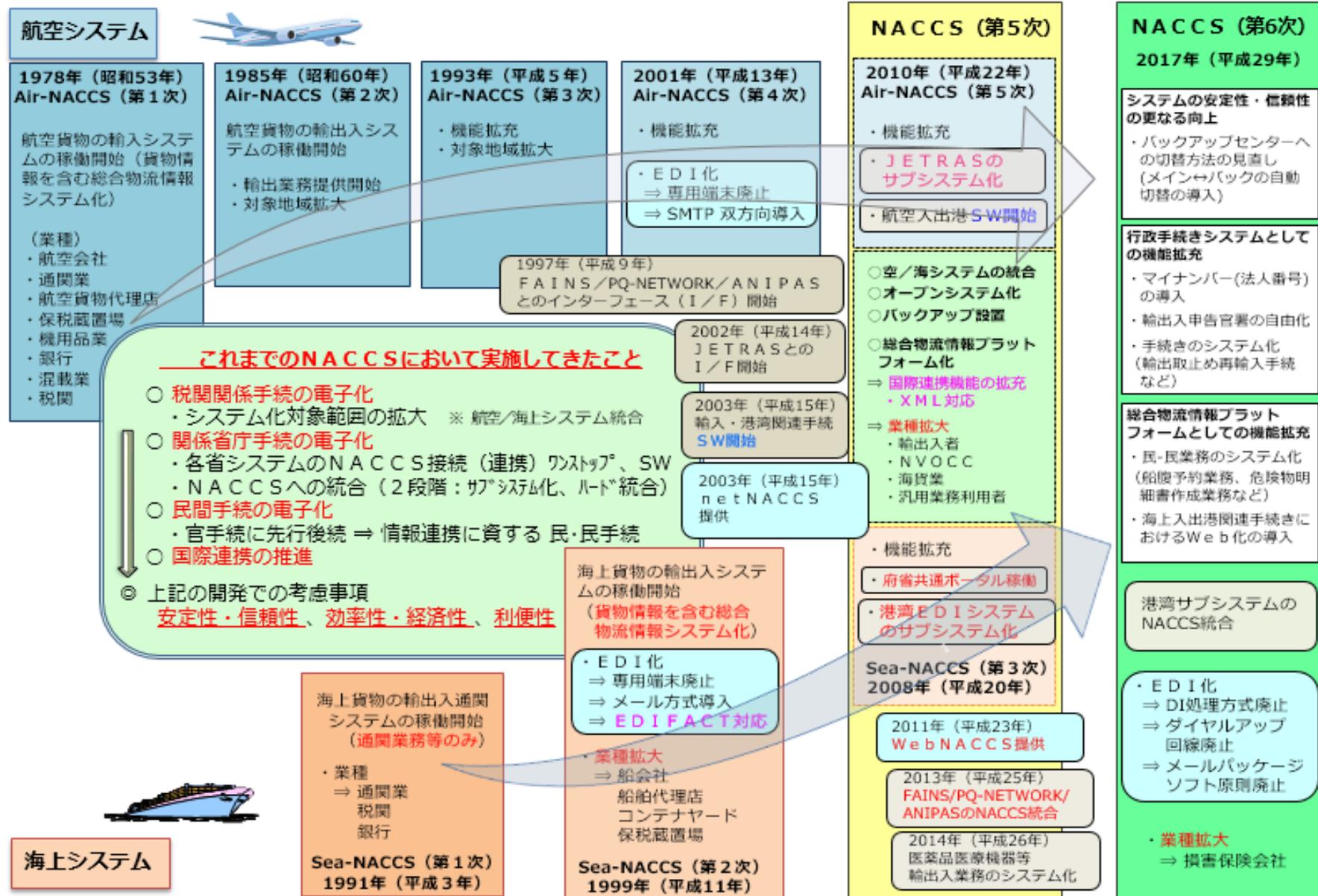
### 3. 第7次NACCS開発スケジュール

- 第7次NACCSについては、以下のスケジュールに沿って進めることを予定しています。

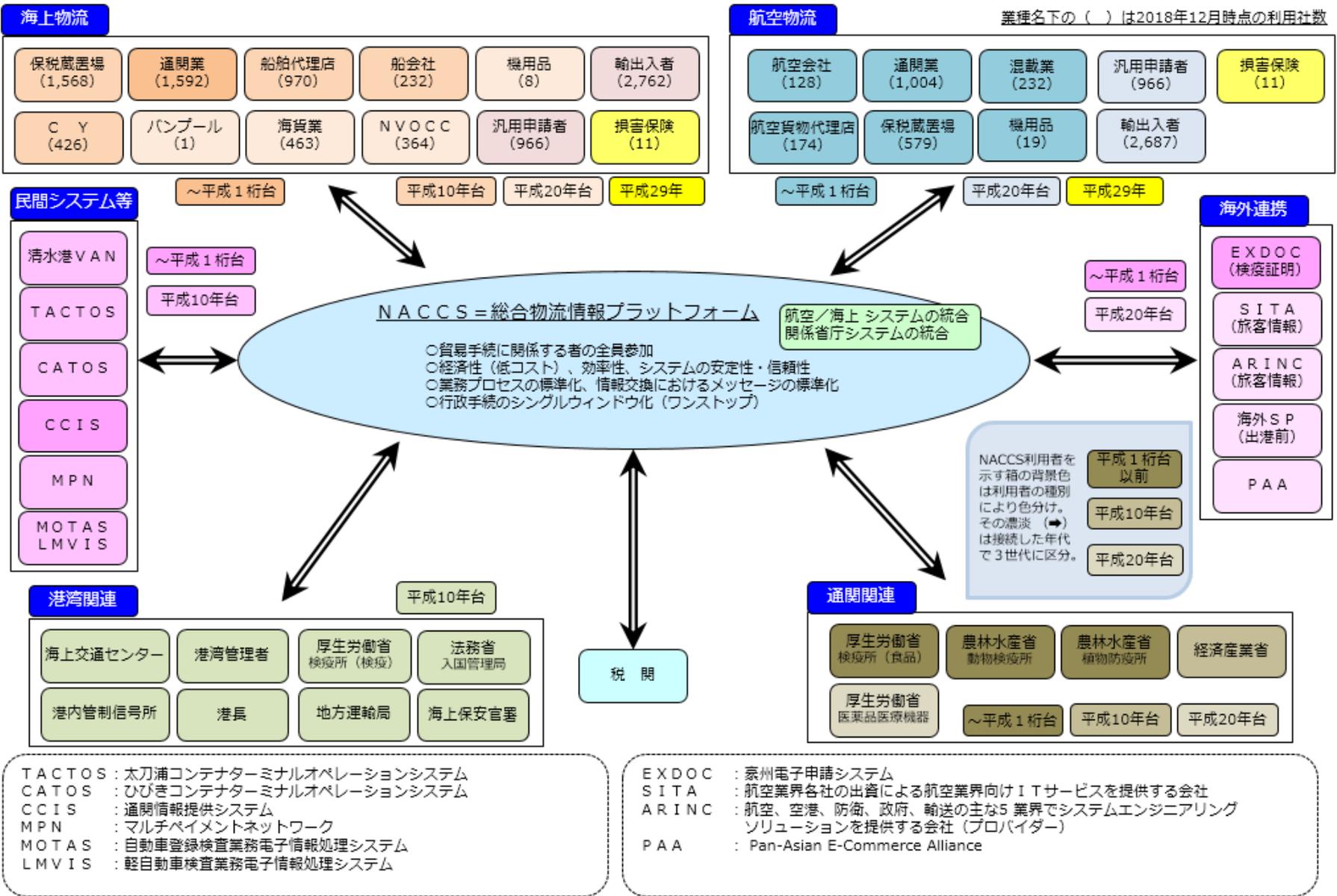


※ 第7次NACCSのライフサイクルは、利用者システムへの影響等を考慮し、これまでと同様に8年間とします。

# 【資料①】 NACCS開発の歩み

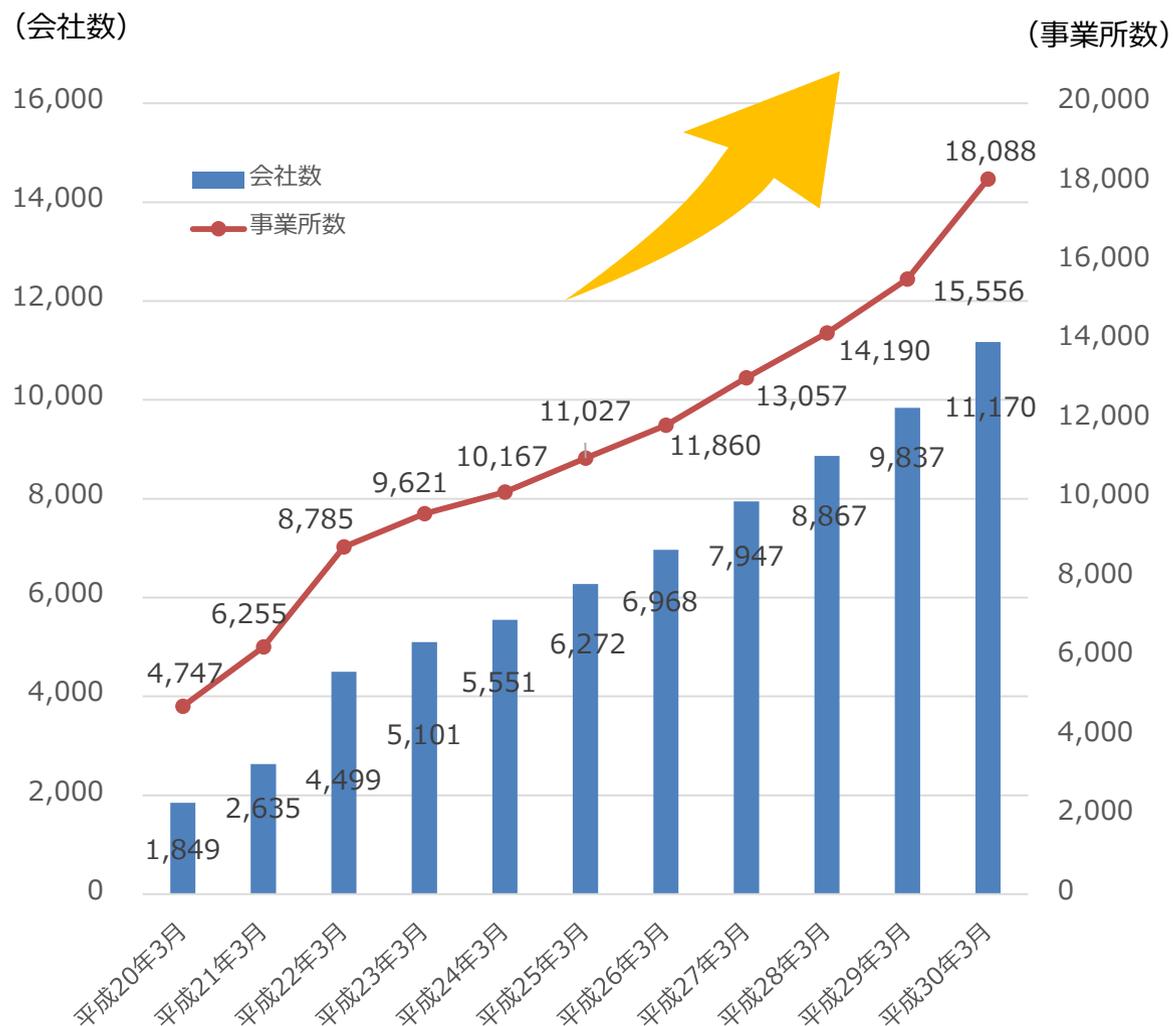


# 【資料②】NACCSの利用者関係図



# 【資料③】NACCS利用者等の拡大

## 1. NACCS利用者数【航空・海上全体】



## 2. 自社システム利用者数の比較

第5次更改時点	第6次更改時点	伸び率
116社	193社	1.66